



11期生入学式・対面式



4月10日に入学式が行われました。
担任から11期生16名一人ひとりの名前が呼ばれると、初々しくも元気の良い返事が、会場内に響き渡りました。
本年度も中学校通信では9・10・11期生の活躍はもちろん、高校生である6・7・8期生との合同行事の様子などをお伝えしてまいります。

入学式 誓いの言葉

「これからの中学校生活に対する期待で胸がいっぱいです。みんなで励まし合い、支え合いながら困難を乗り越えていきます。」

新入生代表 會田 智陽（福島市立庭坂小学校出身）

対面式 歓迎の言葉

『楽しいことや苦しいこと、いろいろなことがあると思いますが、「福島成蹊生」という仲間として、励ましあったり、支えあったりして、共に乗り越えていきましょう。』

在校生代表 生徒会長 山村 蓮
（桜の聖母学院小学校出身）

対面式 御礼の言葉

「今日まで不安でしたが、先輩方の姿を見て安心しました。私達も成蹊学園の一員として一生懸命頑張ります。」

新入生代表 阿美 豪（福島大学附属小学校出身）



一貫対面式



中2～高3の先輩全員で、新しく仲間に加わった11期生を歓迎しました。学校行事についての説明を受け、これからの学校生活がますます楽しみになったようです！

クラスメイト、そして先輩後輩が互いに刺激し合って成長することができる良質な環境こそが、福島成蹊中高一貫コースの最大の魅力です。

オリエンテーション合宿

11期生は、4月13日(土)から2泊3日、磐梯山青少年交流の家で合宿を行いました。入学して間もないこの時期の合宿で、共同で行う活動から出会ったばかりのクラスメイトと一気に距離を縮めることができただけでなく、成蹊中学校での学習習慣や生活習慣を身につけるための土台作りができました。

生徒たちの感想文の一部をご覧ください。



「才能というものは無い。どれくらい練習するかが大切」という校長先生のお話を聞いて、今までの自分は何度も何度も勉強する回数が少なかったということに気づきました。

半澤 茉幸

(伊達郡桑折町立釧芳小学校出身)

勉強面は何度も繰り返し練習することを毎日欠かさないと、生活面では元気な挨拶や5分前行動を心がけることなどを合宿で学びました。これらのことを今後に生かしていきます。

遠藤 煌芽

(福島市立森合小学校出身)

貼り絵の完成形を見たときに、感動で声が出ませんでした。みんなで協力して何かを達成することはとても嬉しいことだと感じました。集団生活の楽しさが分かりました。

奥山 大樹

(福島市立南向台小学校出身)

合宿中のテストに向けて頑張りましたが、満点がとれませんでした。自分の努力がまだまだ足りないことに気づくことができました。自分が改善すべき点が見つかりました。

菅野 陽斗

(福島市立飯坂小学校出身)

自分なりに頑張った英単語テストも、もっと工夫して勉強することが大切だと感じました。校長先生がおっしゃっていたように何度も何度も繰り返すという努力をしています。

熊田 空

(郡山市立高倉小学校出身)

自然散策では、校長先生がなぜ松の木の葉は落ちないかなど、いろいろなことを教えてくださいました。新しく知ったことが増えてとても嬉しかったです。

遠藤 綺女

(福島市立矢野目小学校出身)

